

2026年3月5日

撮影データとAI解析で 建築現場の施工状況を遠隔で可視化
遠隔施工管理システム「zenshot(ゼンショット)」の本格導入を開始
 移動削減によって施工管理業務を効率化し 生産性が向上

パナソニック ホームズ株式会社は、2026年4月から、当社が建築を請け負う住宅等の施工現場に、Zen Intelligence 株式会社が提供する遠隔施工管理システム「zenshot(ゼンショット)」^{※1}を導入します。

「zenshot」は、360度カメラで現場を撮影し動画データをAIで解析することで、図面と連動した360度現場ビューを作成するサービスです。導入により、工事管理者や営業・設計・職人などの関係者が、時間・場所を問わず施工状況を網羅的に把握できるようになります^{※2}。

大工職などが 現場の状況を
360度カメラで撮影



工事管理者など関係者は
遠隔で映像・解析データを確認できる



画面を指でスワイプすると
360度ビューで現場を見渡すように
確認でき、どの位置の映像が
画面右上の図面で把握できる

360度カメラとAI解析を活用した 遠隔施工管理「zenshot」の仕組み

当社の工事管理者の業務は、現場の安全や工程、品質、原価の管理に加え、お施主さま対応など多岐にわたります。業界全体で工事管理者などの人材が不足するなか、当社は現場管理の「極小化」（人が行う作業や物理的な現場拘束時間を極限まで小さくする）を掲げ、業務のデジタル化に取り組んできました。遠隔施工管理においても複数のツールを検討するなか、カメラを持ち2～3分程現場全体を歩くだけでストリートビュー型の現場データが自動生成される「zenshot」は、操作が簡単で撮影する大工職など現場ヘスムーズに定着でき、かつ網羅的にデータを残せることから、2024年1月に試行運用し有用性を検証。得られた以下の効果などを総合的に評価し、本格導入を決定しました。

1. 工事管理者業務のうち2～3割を占める「移動」の時間を大幅に削減し、確認作業を効率化。
2. 360度ビューとAI解析で可視化された現場状況を、複数の目で確認し、安全・品質が向上。
3. 営業・設計担当者、工事管理者や責任者が撮影データを活用してお施主さま対応品質を向上。

2026年4月に東京・近畿で計500台を配備後、地方へ順次拡大させ、将来的には標準ツールとしての採用を見据えて全国展開を進める予定です。当社は、2023年の「DX推進室」創設以来、全社横断でデジタル技術を活用した抜本的な業務改革を推進しています。今後も、生産性向上とともに、お客さまにご満足いただける品質・サービスの提供と、より安全な現場づくりを目指して取り組みを進めていきます。

■遠隔施工管理システム「zenshot」 サービス概要

施工現場の状況を 360 度ビューとして自動的に作成・可視化できる、施工管理支援サービス。

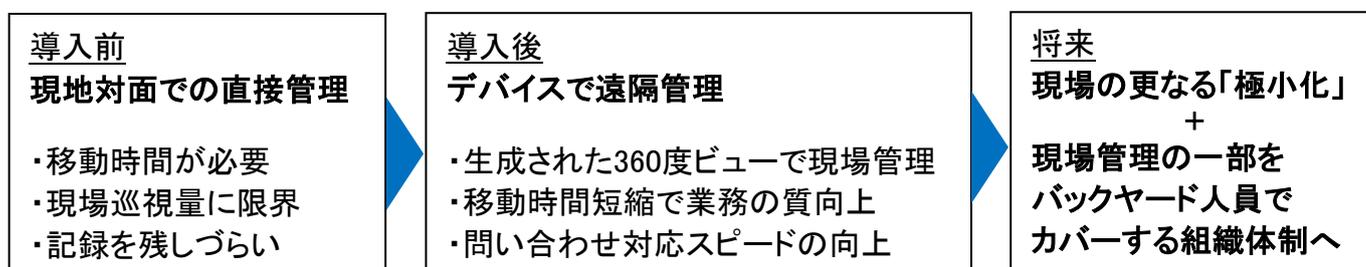
- ・カメラと通信機器を備えた専用ボックスを施工現場に設置し、現地にいる作業者がカメラを持って 2～3 分程現場全体を歩行するだけで記録が完了。
- ・記録された現場データは、歩行完了後に専用ボックスを通じて「zenshot」のシステムへ自動的に転送され、AI による空間解析処理を経て、図面と連携した施工現場の 360 度ビューが作成される。
- ・作成された 360 度ビューは、Web ブラウザを通じてパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどから、時間・場所を問わず閲覧することが可能。

■「zenshot」導入による変化と今後の展望

当社の工事管理者は、建築現場の監督として、着工からお引渡しまで工事を計画通り安全に、高い品質を保持しながら進められるよう、工程、安全、品質、原価の管理、職人への指示やお施主さまへの対応、近隣への配慮など、統括・管理業務を行います。現地へ赴き確認しながら業務を行いますが、物件数の多い都心部で1人が複数の現場を担当する、また人員が限られた拠点で広範囲の現場をカバーする場合など、現場間や現場と事務所間の移動に時間を要するなど課題がありました。

今回「zenshot」を導入することにより、工事管理者は、現場で日々作業する大工職や基礎工事担当者などが 360 度カメラで撮影した動画データを活用し、時間・場所を問わず各種管理業務を行うことができるようになります。遠隔管理による効率化で、工事管理者は品質・安全・お施主さま対応というコア業務に集中でき、強い施工体制を築くことができます。

将来的には、「zenshot」に蓄積される施工現場データを基盤に、AI による安全・品質・工程の状態解析や異常検知への活用を検討し、現場管理のさらなる「極小化」を目指します。また、工事管理者に属人化していた現場管理の体制のあり方の見直しについては、検討を進めながら段階的に取り組む予定です。



■これまでの建設 DX の取り組み例

建設部門においては、2021年にLINE WORKSや施工管理アプリ「Kizuku(きずく)」^{※3}を導入し、工事関係者が現場での対面でのやりとりや電話だけに頼らず、情報共有できる仕組みを構築しています。具体的には、これらデジタルツールを使って、お施主さまの邸別に写真・図面や職人の入退場状況、現場進捗などを効率的に共有し、工事を進めています。

■当社の DX 推進

2024 年 7 月、当社は経済産業省から、デジタル技術を活用した顧客志向の取り組みや積極的な情報開示が評価され、同省による『DX 認定』を取得しています^{※4}。今後も DX を推進しながら、お客さま一人ひとりに最適なサービスの提供を続けられる仕組みづくりを進めます。

◎パナソニック ホームズ DX 戦略について

<https://homes.panasonic.com/company/sustainability/social/dx/>

- ※1: Zen Intelligence 株式会社が提供する製品ページ <https://zenshot.ai>
- ※2: 建設現場の遠隔管理は、一定の要件・条件のもと労働安全衛生法で認められています。
- ※3: コムテックス株式会社が提供する製品ページ https://www.ctx.co.jp/kizuku2_pr/
- ※4: プレスリリース 経済産業省による『DX 認定』を取得
<https://homes.panasonic.com/company/news/release/2024/0724.html>

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 川原

TEL:080-2107-8588 / E-mail:kawahara.mai@panasonic-homes.com

HP:<https://homes.panasonic.com/company/news/release/>